

十字園だより

第136号



・けやき寮・

健康管理について



今年度の寮目標に、健康管理の項目がありました。感染症対策はもちろん、健康の維持・増進には様々な面からの取り組みが大切です。

まずはいつもと違う状態に早く気が付く事。おかしいなと感じたら、すぐに看護師と連携し通院や治療などを検討し、必要な対応を行います。

普段の取り組みとしては、衛生・清潔保持や快適な空間づくり。運動と睡眠のバランスの取れた生活リズム。栄養管理された美味しい食事と口腔内の健康。排便リズムなど。

また、体の健康だけでなく、楽しみや穏やかさのある心の健康も大事です。

ご利用者お一人ずつでお好みや心地よさは違います。その方に合わせた内容で、心身の健康のバランスを保てるよう取り組んでいます。(小柳)

新型コロナウイルス感染症発生のご報告

2022年2月に発生しました、当園での新型コロナウイルス感染症クラスターについてご報告いたします。

【経過】

2月6日、けやき寮ご利用者3名の発熱を確認。寮閉鎖の対応を行う。2月7日、同寮ご利用者に発熱症状の方が多数発生。抗原検査にて6名の方の陽性が確認される。嘱託医を通じて保健所へ報告。保健所の指示と厚生労働省のガイドラインに沿って対応を開始する。これ以降、感染者はさつき寮・いぶき寮へも広がり、2月第3週をピークに増加。職員にも陽性者が発生する。2月22日、けやき寮すべてのご利用者の療養期間が終了。追って3月2日さつき寮、3月3日いぶき寮のすべてのご利用者の療養期間が終了。ひのき寮ご利用者は陽性者の発生なし。保健所の指示に従い、3月9日をもって経過観察期間を終える。

【陽性者数】

ご利用者陽性者	けやき寮24名	さつき寮21名	いぶき寮20名
職員陽性者	27名		

【対応等】

- ・3回に分け、全職員および陽性者発生3寮の関連のご利用者に対し、PCR検査を実施。
- ・各寮同士の接触はなくし、寮内でも可能な限り各居室にて隔離対応を行う。
- ・保健所・県・市との連絡・調整を連日行い、体調の報告や対応の指示をもらう。
- ・新潟医療関連感染症コンソーシアム(CHAIN)による指導をうける。

【今後の対応】

- ・CHAINのアドバイスをもとに、手洗いや清掃などの基本的な対応を改めて強化。
- ・感染症流行期においては施設内でのまん延を防止するため、活動グループを少人数化し、濃厚接触者の範囲をできるだけ小さくする。
- ・職員の個人防護具の着用。これまでのマスク・ゴーグル・手袋に加え、エプロンも使用。
- ・地域からのご利用者の受け入れ方法の検討、変更。

この期間中、ご家族、関係者様よりたくさんの寄付や差入れ、また、労いや励ましの言葉をいただきました。最小限の人数で日々の支援にあった職員にとりまして、大変心強い思いでした。今回の件をきっかけに、新型コロナウイルス以外の感染症も含め対策のより一層の強化と見直しをはかり、感染症に強い施設づくりを進めたいと考えます。



旧 いぶき寮 1階



どうしよう
この数...



ガッツだして
いこう!

旧 けやき寮 2階



高橋園長!
助かります!

ヨイショ!!



なにが
はじまるんだ3う

けやき寮 ⇄ いぶき寮 引っ越しました!

行ったりー
来たりー♪



新 いぶき寮 2階



ちょっとちがうね!

新 けやき寮 1階



あたらしい
おへやだね!

いい、なにがちがう...

～けやき寮といぶき寮の入れ替えについて～

数年前から検討していた、2寮の入れ替えを行いました。1Fは男性、2Fは主に女性が生活することで、職員の横断的な支援がしやすくなりました。一部、改修工事を行い、個人のスペースや感染症対策にも取り組んでいるところです。このたびの居室変更をご快諾下さったご家族やご利用者の皆様、どうもありがとうございました。(平野)

【真柄福祉財団 備品等・設備整備助成事業】

新型コロナウイルス感染まん延防止のための施設整備等に補助金を頂いたことを合わせてご報告致します。

退任に際して

園長 高橋 英樹

日頃より十字園の事業運営にご理解とご協力頂き、誠に有難うございます。この度の新型コロナウイルス感染症に際して多大なご心配とご迷惑をおかけ致しました。改めて感謝されたご利用者並びにご家族に対し心よりお見舞い申し上げます。寄稿の段階では、感染されたご利用者、職員が相当数あり、日々、体調の変化に憂慮しております。そのような折に、ご家族の皆様から多くの励ましのお言葉や心遣いを頂戴致しました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。本当に有難うございました。原稿が掲載される頃には感染が完全収束している事を只々祈るばかりです。ご家族の皆様におかれましてはくれぐれお身体を大切に。さて、私事で大変恐縮ですが、この度法人内人事異動により本年三月末をもちまして退任する事となりました。三年という短い期間ではありましたが、ご家族の皆様には多大なるお力添えを頂いた事に深く感謝申し上げます。とりわけ、直近二年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、面会や帰省、行事等を規制せざるを得

なかった事と重なり、ご家族の皆様との相互の信頼関係構築というところまで至らなかつた事については偏に私の不徳の致すところであります。一方、時に叱咤激励のお言葉やお手紙を頂き、大変感銘を受けた事を昨日の如く鮮明に記憶しています。そして、何よりもご利用者の皆様からかけてもらいました言葉が私の支えになった事は言ってもありません。後任は課長の久根内が務めます。変わらぬご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。四月からは法人本部の職員となりますが、当面、十字園の建物の中におりますので気軽に声を掛け下されば幸いです。結びに、ご利用者、ご家族におかれましてはますますのご健勝と、そして十字園の更なる発展を祈念し、退任の挨拶に代えさせて頂きます。大変お世話になりました。そして有難うございました。



家族会のみなさんへ

家族会会長 金田 和子

コロナ禍の状況も3年目となりますが、みなさんお元気でいらつしやいますか。弟、小池士郎の死去に至る経過を、報告いたします。昨年6月9日に、体調不良のため済生会病院を受診し、検査のため入院。6月14日に、進行胃癌・リンパ節転移・腹膜播種・ステージ4と診断されました。すでに他臓器に転移があり、化学療法も困難なため、6月22日に食物や薬を飲むことができるよう「胃・小腸バイパス手術」を行い、その後余命2カ月と宣告されました。7月20日に新潟医療センタ―緩和ケア病棟に転院し、9月6日に歩行困難で転倒、9月8日に飲食ができなくなり、その後昏睡状態となりました。

入院から約4ヶ月、10月4日21時55分に死亡が確認されました。享年64歳でした。10月7日の葬儀後斎場に向かう途中、園に立ち寄り、入所者のみなさん、職員の方と最後のお別れをすることができました。十字園入所から33年、長い間お世話になり、ありがとうございました。みなさんとお話できる状況になりましたら、入院生活で気付いたこと、緩和ケアについてお話ししたいと思っています。お会いできる日を楽しみにしています。



善点です。それでは、どう改善していくのかを考えてみますと、「個性を活かす」という意味で多様性という事を再度、意識した支援を念頭に置き取り組んでまいります。

多様性(ダイバーシティ)とは集団において、色々な属性の人が集まった状態の事です。元々は人権問題や雇用機会の均等などを説明する際に使われていたが、最近では様々な場面で使用されています。一概に、この言葉が独り歩きすると、さも誰もが平等に過ごせる社会になっていくなど、一方的な耳障りの良い言葉になりますので、個々の理解が無論大切になってきます。

来年度も逡巡を巡らす場面が多々あるかと思いますが、スタッフ一同、尽力してまいりますので宜しくお願い致します。

(あとかき)

毎回十字園だよりで同じような事を述べているような気がしておりますが、おそらく、今後も手を変え品を変え、再三再四述べるかと思われそうですので、ご了承願います。



あけましておめでとうございます。2022年もよろしくお願いします。無事皆様で年を迎えました。肌寒くなり息が白くなる季節ですが、皆様元気に過ごしております。

年明けにお寿司が食べたいと話されたので1月5日に皆様でお寿司を注文しました。他にもフライドポテトや唐揚げ、デザートにシュークリームを食べ、とても満足されておりました。今年も皆様が楽しく過ごされるような一年にしたいです。(阿部 友樹)

日々が学び

十字園に入職して数年が経ちました。それまで私は、ほとんど障害を持った方と接する機会がなかったので、驚くこと、学ぶことが多くありました。

数年たった今でも、新しい発見や気づきを利用者の方々からもらっています。十字園で過ごされている利用者の皆様と一緒に時間を過ごし、自分自身の成長にも繋がっていることを感じます。これからも日々の学びを活かし、努力をしていこうと思います。(江口)

ひのき寮・けやき寮

主任 高橋 正人

今年度も寮運営に御理解と御協力を賜りまして、誠に有難う御座いました。

ここ数年、見聞きする内容が、新型コロナウイルスの事ばかりです。さすがにもう飽き飽きしているかと思いますが、仕方がない事です。更に本原稿作成時点では、感染力が強い新変異株の置換が進んでいる現状という事で社会生活や経済活動も未だ停滞しているように感じています。

今年度の支援方針として出させていただいた「ご利用される皆様の個性を大切に、その個性を活かした生活や活動のお手伝いをさせていただきたい。」という点ですが、当園における日常生活に關しましても、社会の現状に鑑みて、とにかく体調管理の把握に努める事を最重視していた部分が多く、その点では罹患者も無く良かったと安堵していますが、生活や活動の幅は大々的には広げられなかったと思っており、来年度の改

ひのき寮お寿司パーティー

12月28日ひのき寮ではお寿司パーティーを開催しました。普段の給食ではなかなか食べられないお寿司に皆さん大喜び。

メニューは画像を見てもらい、各々好きなメニューを注文し、各々が満足するお寿司セットが完成。

コロナ過で皆さん思い通りにいかず、ストレスを溜めている方もいると思いますが、この日は皆さん満面の笑みが見られました。今後でもできる範囲で皆さんを笑顔にできるよう職員一同努めていきたいと思った1日でした。

(遠藤 勇)



好きなこと 「釣りが好きなんです、私。」

十字園のご利用者の皆さんも好きな事がそれぞれあって、とても個性が強いです。音楽を聴く、美味しい物を食べる、自販機で飲み物を買う。好きな事をする時は夢中で、笑顔を見せてくれます。その気持ちすごく分かります。

中々外出をすることが難しい現状ではありますが、どうしたら喜んで貰えるのか。試行錯誤する事がこの仕事の好きな所でもあります。(高山 啓太)

お一人お一人のペースに合わせた生活、活動参加の機会を保障する。②個別支援です。日頃より感染症予防、転倒・怪我防止に留意しました。ただこの度新型コロナウイルスに罹患された方もおられました。ご利用者の皆様は大きな怪我、病気がなく過ごされました。これは効率重視から、暮らし・生きがいの尊重へと繋がり、スローライフを推進できたのだと思います。また感染症に万全の対策をしつつ、ご利用者の皆様全員が行事に参加され、活動参加機会の保障が達成できたと思います。

日々の生活の中で、女性寮のご利用者お一人おひとりのペースが違います。ご利用者のペースに合わせた支援の提供と、それに寄り添うことに重点を置いた1年間だったと思います。1年間ありがとうございました。



さつき美容部

昨年から新しく発動した美容部。美容グッズを用いて女子力を磨いています。今年からアロマ手浴・足浴を始めました。

アロマのいい香りに癒されながら、職員が手足をマッサージします。気持ちがいいのか、なかには眠ってしまう方も…。

この美容部の活動が、利用者の皆さんにとって癒しの時間になれば、と思っています。(中川)



さつき寮 寮活動

個別口腔ケアの取り組み

口腔ケアの目的は大きく2つあります。

- ①感染予防
- ②口腔機能の維持と向上です。

ご利用者のご家族からも「歯をしっかりと磨いて欲しい」というご意見が聞かれます。定期的に歯科通院されている方も多くおられます。

十字園の支援のひとつに健康維持があります。その為には口腔ケアが重要と考え、個別対応での口腔ケアを開始しました。まだ、始めたばかりのため、大きな効果は得られていませんが、「歯医者さんに褒められるお口」を目指して継続していきます。

看護師 石塚



口腔ケアについて

昨年秋頃から、皆さんの口腔ケアにもっと力を入れていこうと、普段の歯磨きに加えて更に丁寧な仕上げ磨きの時間を設けました。椅子に座る方、横になった方がやりやすい方等様々です。口を大きく開け、フッ素ジェルコート

を付けた歯ブラシで、歯と歯茎の境目や歯の表面や裏側、磨きにくい奥歯も丁寧に時間をかけてブラッシングしています。

(矢崎)



いぶき寮・ちいき寮

主任 木村 裕介

コロナ禍の中、今年度も感染防止対策へのご協力いただきありがとうございます。今回、感染拡大したことで、日々の過ごし方についても感染防止の観点から今一度考える必要があると思いました。引き続きご協力をお願い申し上げます。

今年度の女性寮の目標は、【専門性を生かした協同システムの構築。職員同士の多様な意見を生かした支援をします。】です。この目標を達成するために、まずいぶき寮、さつき寮の環境面や支援方法の違いなどに留意して取り組みました。

いぶき寮の重点目標は、①ご利用者の生活リズムに沿ったスローライフの推進。②重度高齢化支援です。

さつき寮の重点目標は、①

「いぶき寮 お寿司デリバリー」



いぶき寮 寮活動



12月末、昼食にちらし寿司弁当をデリバリーしました。金色の器に入ったちらし寿司はとても豪華な内容で、「お寿司だ!」「美味しい～」と皆さん嬉しそうな笑顔が見られました。

昨年は感染症対策として中々出掛けられなかったのが、給食と一味違うお食事を楽しんで頂けたかと思います。

暖かくなり、春が近づいてきたらまたお弁当を頼んで中庭でピクニックをしたいですね。(寺門一海)



口腔ケアの取り組みについて

昨年から、食後の歯磨き以外にも口腔ケアの時間を新たに設けました。週一回、フッ素コートジェルを使用して歯、歯間部のブラッシングをしています。看護師からも指導を受け丁寧に行っています。

口腔ケアを始めてから職員の歯磨きに対する姿勢も変わったと感じます。お口の中を健康に保って、食事を楽しんで元気に日々を過ごしてほしいです。(佐藤)

